

たが、柿はいや／＼とかぶりを振つたばかりで、  
 どうしてもはたき落す事が出来ません。トク坊は、  
 石を拾つて、

「この腐り柿め。」

とどなつて、はつしと投げ付けました。ぽかつと  
 石があたつたとたん、眞赤な柿の實は、たらりと  
 トク坊のあほ向になつた額の上へ、とどろのやう  
 になつて垂れました。

### 森の中の古靴

A B C

夕焼のきれいな或夕方の事でした。鳥も獣もみ  
 んな仲よく手をつないで散歩に出かけますと大き  
 な樫の木の下に誰か旅人の棄てた古い靴がござい  
 ました。みんなこんな變てこなものを見た事がな  
 いので小鳥達は化物ぢやないかしらとブル／＼慄  
 え出しました。すると年老の熊さんが黒い眼玉で  
 チツと靴をみながら

「小鳥さん、そんなに恐がる事はいりません。こ  
 の年老のいふ事を聞きなさい。これは堅い／＼  
 果物の殻です。みなさんの柔い羽でさすつてご  
 らん！」

といひましたので小鳥達はすつかり安心しました  
 「さあ、皆さん、まだ／＼恐ろしいものが出て來  
 るかも知れないからさつさと歸りませう」

と熊さんが先頭に歩き出さうとしますと

「ヤ、こら、待て！」

と狼が牙をむき出して呼び止めました。

「これが果物の殻だつて？ 小鳥さん、熊君のい  
 ふ事は嘘ですよ。私のいふ事を聞きなさい。こ  
 れは大きな鳥の巢です、この澤山の小さな穴は  
 小鳥の出入口でこつちの深い所は親鳥の卵を生  
 む所なんです」

小鳥達は成程さうかも知れないと思つたので

「熊さんの嘘つき！ 鳥の巢ですよ。チュ、チュ

「チユ」

と狼に賛成しました。

熊はなか／＼承知しません。

「己ほどの物知りを馬鹿にするとは」

「僕のいふ事が嘘だつたら何でもやるよ」

と互に意地を張るのでとう／＼熊公と狼と取つ組を始めました。

これを見てゐた人のよい山羊、長い顔して

「モシ／＼熊さん、狼さん、喧嘩はちよし、二人

とも實の所、間違つてゐるんです。果物の殻で

も鳥の巢でもありません、これは古い／＼木の

根です」

と横へ下つてゐた細い紐をなで／＼いひましたが

熊さんも狼も聞き入れませんが、今度は喧嘩をやめ

て山羊に向つて來ました。今にも山羊がやられ様

とする所へ鼻が飛んで來て

「ホー、ホー、山羊君を離し給へ」と嘴で熊や狼

の眼や鼻をつきました。

「何だつて、皆の知慧のない事、呆れるばかりぢ

や、わしは廣い世界を始終旅行してゐるので皆

の知らない事をちやんと知つてゐる。このわし

のいふ事を聞くがよい。これは人間の穿く「ク

ツ」といふものぢや、君等にはいらぬものだ

が人間には大事なものだ。わしは長年人間の中

にゐた事があるのでたしかに覺えてゐるぞ」

と聲高らかにしゃべり立てました。

しばらくは熊も狼も山羊も小鳥もみんな呆氣に

取られてなりを沈めてゐましたが急に騒ぎ出しま

した。

「人間つて何だい？」

「靴つて何？」

「君は人間を見たつてほんとかい？　嘘を一つで

もいつたらきかんど」

「ハ、人間つてな脚が二本あつて狼の様に立つ

て歩くんだ。それかといつて鳥の様にも今では

飛べるし、我々の分らない言葉も知つてゐるよ  
それあ、人間ほど伶俐なもの世の中におない  
な、今に君等を征伐に来るかも知れないぞ」

「生意氣な事をよせ、脚の二本しかないものが脚  
の四本ある我々よりも何でも出来、何でも知つ  
てゐるつて法があるものか」

「人間が飛ぶつて、すぐ落ちるにきまつてゐる、  
私等この羽は小さくても落ちたためしはない」  
「我々を征伐に来るつて？ 我々のこの手に、こ  
の牙にまさる武器が何處にある？」

「大體、君はいつも生意氣だ、今度は我慢が出来  
ぬ、さあ、皆さん、梟の奴を退ひ出さうぢやあ  
りませんか」

との熊さんの言葉にみんな一同にドットせめかけ  
ました。

「これは危い」

とみた梟

「何といつたつて靴は靴ですよ、ハアハア！」  
とみなを見下ろしながら暗い空を飛んで行きまし  
た。終（外國讀本より）

### 駒馬の胸の赤くなつたお話

昔々或寒い北の國に火の番をしてゐる老爺さん  
と息子とが居りました。火種が消えたら最後、何  
處の家にも火の氣がなくなり一晩の中にみんな凍  
え死んでしまふか、それとも白熊の鋭い牙で八つ  
ざきにされて死ぬかどちらかでございますから  
二人は夜も寝ないで交るく、一生懸命に番をして  
ゐましたが、可愛想に老爺さんは風邪が元で重い  
病氣にかゝり毎日悪くなつて行くばかりでした。  
息子は老爺さんの世話やら火の番やら始めの間は  
甲斐々々しくやつてゐましたが段々疲が出て来て  
眠くて堪らなくなりとうとう火の事も忘れて眠つ